

一般廃棄物最終処分場基本構想

概要版

令和4年2月

江 別 市

1. 構想概要

江別市では、現在稼働している環境クリーンセンターについて、令和18年度までの延命化を進めている。

また、現在使用している一般廃棄物最終処分場(以下、「現最終処分場」)が令和10年度中に計画埋立量に達する見込みであり、その後の埋立処分を継続していくには、次期一般廃棄物最終処分場の計画的な整備が必要となる。

そこで、当該処分場を環境クリーンセンター敷地内に整備するための基本構想をとりまとめた。

- ①設置主体 : 江別市
- ②埋立面積 : 約 21,600m²
- ③埋立容量 : 約 69,000m³ (内廃棄物 57,900m³、覆土 11,100m³)
- ④埋立年数 : 15年間 (令和10年度～令和24年度)
- ⑤埋立方式 : 準好気性埋立方式 (平地層状埋立方式)
- ⑥埋立対象物 : 家庭から排出されたごみ (脱塩残渣、破碎残渣、直接搬入物、焼却残渣)
- ⑦浸出水処理施設 : 50m³/日
- ⑧主要施設 : 貯留構造物 (土堰堤)、遮水設備 (2重遮水シート)、雨水排水設備、浸出水集排水設備、浸出水処理施設、埋立ガス処理設備、飛散防止設備、搬入管理設備

⑨放流水質

区 分			処理水質
水	BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/L	20 以下
	SS (浮遊物質)	mg/L	10 以下
	ダイオキシン類	pg-TEQ/L	10 以下
質	Ca ²⁺	mg/L	100 以下
	その他	—	基準省令*による

※出典：一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令 (別表1)

⑩位置図



2. 施設概要

最終処分場は廃棄物を中間処理 (焼却・破碎等) 後または直接埋立処分する施設で、浸出水 (汚水) の周辺への影響を防ぐため埋立地の内部は2重の遮水シートを採用する。

雨水等により廃棄物と接触して発生した浸出水は、浸出水処理施設で処理し、河川へ放流する。また、大雨時に一時的に浸出水を貯める浸出水調整池を設け、大雨時にも周辺に影響が無いようにする。

その他、次期最終処分場では上記を含め以下の設備を整備する。

- ① 擁壁等流出防止設備 : 埋立した廃棄物を安全に貯留するための流出防止堰堤 (土堰堤)。
- ② 遮水設備 : 浸出水の周辺への影響を防ぐため、遮水シートを2重に敷設。また、その破損を防止するため、各遮水シートに保護マットを設置。なお、最終処分場底面部では車両走行を行うため、その保護として50cmの保護砂を設置。
- ③ 雨水排水設備 : 最終処分場周辺に降った雨水を最終処分場へ影響が無いように雨水排水路により河川へ導く。
- ④ 浸出水集排水設備 : 埋立地内に降った雨が廃棄物と接触し浸出水となったものを、浸出水集排水管で集水し、浸出水調整池へ送る。
- ⑤ 浸出水処理施設 : 大雨時にも浸出水があふれないように、一時的に浸出水を貯留する調整池、集めた浸出水を河川放流できる水質まで処理して放流する浸出水処理施設などからなる。
- ⑥ 埋立ガス処理設備 : 廃棄物中の有機物は時間とともに分解し、ガスが発生する。そのガスをガス抜き管で大気拡散する。
- ⑦ 飛散防止設備 : 廃棄物の飛散防止のためにフェンス (飛散防止柵) を設置。
- ⑧ 搬入管理設備 : 廃棄物を最終処分場まで運ぶための搬入道路。また、埋立周囲の維持管理のための管理用道路。

3. 概算工事費

単位：百万円

工種等	金額
① 埋立地造成工事	1,641
② 浸出水処理施設建設工事	1,040
③ 設計他関連委託費	134
合計	2,815

4. 今後のスケジュール

種 別	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	～ 令和24年度
1. 基本設計	■						
2. 実施設計		■					
3. プレロード工事			■				
4. 最終処分場工事				■	■		
5. 埋立						■	■

完成 ↓

5. 計画平面図

